

令和2年度 あおぞら幼保連携型認定こども園における学校関係者評価報告書

令和2年度 あおぞら幼保連携型認定こども園における学校関係者評価結果

○調査対象:保護者(施設アンケート結果103世帯)、保育・給食・保健部門職員(自己評価結果43名事務・用務・短時間職員を含む)

上記保護者、職員の評価資料と経営、教育・保育内容の説明及び施設見学による、学校関係者評価委員6名の評価結果です。

学校関係者評価結果【3段階評価:A・・・よい B・・・一部検討を要する C・・・改善を要する】

評価項目	領域	学校関係者評価(○成果 ▲課題)			
		コメント:(訪問日)11/20(評価者)学校評価委員7名	3段階評価	今後の取り組むべき課題	
I	教育・保育目標について	教育・保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標の設定となっていますか。	○子供たちの体験や健康を十分考慮した取組みになっている。 ○職員一人一人が、園の保育目標を理解し、日々の活動を行っている。 ○各年齢毎に子供達の成長に合わせた遊びの場をもっていた。また、一人一人のペースに合わせ保育がなされている。 ○野外活動等、地域の特色を生かした教育方針が出来ていると思います。	A	職員一人一人が更に園の保育目標を理解し、乳幼児期の特性及び保護者や地域の実態を踏まえ、環境を通して家庭や地域での生活を含めた園児の生活全体が豊かな物となるよう、取り組んで参ります。
		目標は、園や地域の特色を生かしていますか。		100%	
		目標は、社会の要請や保護者の願いを反映していますか。		0%	
II	教育・保育に対する指導について	指導計画は乳幼児の実態に即して作成していますか。	○職員が協力して最大の効果を上げる努力をしていることが伝わる。 ○実践発表で子供の実態に即した教育・保育が行われていると感じました。 ○子供の反応をみて、その都度環境を整備し、活動しやすいうように工夫していた。 ○保育室の様様替えや、おもちゃの保管場所など毎年工夫されている。 ○子供達の成長に合わせた指導がよく出来ていると思います。また、身近な植物を教具として使用する等、地域に沿った教育がされていると思います。	A	様々な年齢の発達の特性を踏まえ、遊びを中心とする園児の主体的活動を通して発達を促す経験が更に得られるよう、現在取り組む中期事業計画「園内研修」を進めて参ります。
		環境の構成を意識した教育・保育・指導の方法や過程を常に工夫していますか。		100%	
		教材・教具を適切に活用していますか。		0%	
III	行事について	行事の種類や実施回数は適切ですか。	○安全に配慮しながら、できるだけ多くの行事を通して子供達を育てようとしている。 ○コロナ禍の中でも、職員が工夫し、行事や日々の活動を行っている。 ▲様々な行事が適切にされていると思います。直近では、コロナのせいで親が見に来れなくなった行事もありますが、それに対するフォローは適宜検討していただければと思います。 ▲今年は、コロナのため殆ど保護者の参加出来る行事が無く残念だった。落ち着いてからに期待したい。 ▲コロナ禍での行事の実施を工夫して欲しいと思います。保護者参観は、会場や時間・人数等を検討し、是非実施していただきたいです。 ▲コロナのこともあり、評価が難しいです。	A	新型コロナウイルス感染症は、教育・保育施設にも深刻な影響を与えています。子供達や保護者、ここで働く職員を守ることで、「新たな生活様式」を当園の活動に重ねながら、これからも、豊かな心情や感性を育む教育・保育を展開できるように、取組みを行って参ります。
		行事のねらいを計画や実施に十分生かしていますか。		84%	
		保護者の願いや意見を取り入れていますか。		0%	
				C	
IV	体制・学級経営・保健安全指導について	職務内容が明確で、協働できる体制になっていますか。	○実態はよく分からないが、計画を見る限りとても良く行われているように思う。 ○保育教諭の方々の大変さを痛感しました。職員間のコミュニケーションをはかり、共通理解の下、実践して欲しいと思います。 ○異年齢児の交流を活発に行っており、職員は子供の様子を見ながら適切に配置されていた。保健の知らせを適宣行い、家庭への啓発を行っている。 ○とても子供達の安全を重視なされていると思います。また、健康面についてもとても配慮されていると思います。 ▲子供の人数に対して、きちんと目の届く職員の人数が配置されているかは少し気になりました。 ▲なかなか難しいですが、人手不足対策は必要と思います。 ▲先生達の意見で以上児と未満児での仕事の差や係のことなどに触れられており、気になった。先生方も心身共に健康であって欲しいと思う。なかなか以上児未満児の交流は難しいと思うが、もう少しあって良いのではないかと感じた。	A	職員が抱える業務内容については、自己評価から改善して参りました。今後も、新たな職員確保の為の職場環境や待遇改善を具体的に取り組んで参ります。
		職員の配置は適材・適所ですか。		50%	
		同年齢及び異年齢児の効果的な活動の充実を図っていますか。		B	
		学年・学級経営に生かされるような具体的保健対策を講じていますか。		50%	
		避難訓練・交通安全指導、計画に基づいて適切に実施されていますか。		C	
		健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っていますか。		0%	

令和2年度 あおぞら幼保連携型認定こども園における学校関係者評価報告書

令和2年度 あおぞら幼保連携型認定こども園における学校関係者評価結果

○調査対象：保護者（施設アンケート結果103世帯）、保育・給食・保健部門職員（自己評価結果43名事務・用務・短時間職員を含む）

上記保護者、職員の評価資料と経営、教育・保育内容の説明及び施設見学による、学校関係者評価委員6名の評価結果です。

学校関係者評価結果【3段階評価：A・・・よい B・・・一部検討を要する C・・・改善を要する】

V	情報・施設・設備の状況について	乳幼児や保護者に関する個人情報適切に取り扱っていますか。	<p>○できるだけ分かりやすい説明と共に情報や用具等を大切にしていることは分かる。</p> <p>○環境整備を職員が意識し行い、子供達が教材等利用しやすいよう整理していた。</p> <p>○個人情報の取り扱いについては、とても配慮されていると感じました。また、用具等も使い安さ、安全性も考えて整理されていると思います。</p> <p>▲保護者の一斉メールを早急に取り入れていただきたいです。</p>	A	保護者の「一斉メール」は、できるだけ早い時期に実施するよう進めて参ります。
		遊具・用具・教材等を、活用しやすいように整理・保管していますか。		100%	
		掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用していますか。		B	
VI	家庭・地域社会との連携について	乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流していますか。	<p>○地域を意識した交流を行っていることが分かる。</p> <p>○近隣施設の訪問や地域社会と交流の機会を設けている。</p> <p>○高齢者施設や病院など定期的な交流がみられ良いと思つた。</p> <p>○積極的に外部との交流が実施されていると思います。</p>	A	コロナ禍の中、様々な地域の方々との触れ合いを中止しておりますが、園目標にある“多くの人々とのかわり”について今後も活動内容を検討し、工夫や連携を図りながら、出会いの場、交流の場を作っていきたいと考えます。
		地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れていますか。		100%	
				B	
			C	0%	
			0%	0%	

今年度は、新型コロナウイルス感染症への対策・対応に利用者の皆様方との連携や協力を基に生活してきた一年でした。学校評価項目でもある『行事について』は、子供達が育ちの経験としての機会を極力失うことなく実施していくことは出来たものの、保護者の皆様と互いに交流し合い、保育に参加していただく事はほとんど出来ませんでした。『体制や学級経営・保健安全指導について』も、昨年度より評価が下がってしまいましたが、取り組むべき課題は明確であり、実直にひとつひとつの改善や対応に努めます。

その他の項目では、概ね評価をいただいておりますが、報告書においても明示しているとおおり、今後の取り組むべき課題を全職員で共有化し教育・保育の質を維持、向上できるように今後も努めて参ります。

あおぞら幼保連携型認定こども園 園長 上村 清吾